

高速新料金で兵庫選出自民議員

国交相に見直し要求

国土交通省が示した高

速道路の新料金制度で本

州四国連絡道路が割高に

設定されたことを受け、

自民党の地元関係国会議

員は28日、同省で前原誠

司国交相に料金制度の見

直しを申し入れた。

兵庫県選出の末松信介

参院議員、西村康稔衆院

議員ら6人。本四道路が

ほかの高速道路に比べ割

高になる点を「著しく公

正を欠き、地元に必要な

負担と影響を与える」と

批判している。末松氏ら

によると、前原国交相は

「重く受け止め、これか

ら議論していきたい」と

答えたという。

一方、井戸敏三兵庫県

知事らは同日、神戸淡路

鳴門自動車道の料金引き

下げを求める提案書を民

主党に提出。その後、自

民党本部も訪ね、大島理

森幹事長ら党幹部と末松

氏、西村氏に面会し、同

様の提案をした。

(山崎史記子)

民主

トラック議連

見直し要求へ

トラック業界を支援す

る民主党の「トラック議

員連盟」(会長・奥村展

三衆院議員)は28日、衆

院議員会館で会合を開

き、国土交通省がまとめ

た高速道路の新たな料金

制度は物流コストの増大

につながるとして、見直しになるケースが大半。

すべきだとの認識で一致。民主党の小沢一郎幹事長

は30日に平野博文官房長官に申し入れる。

新制度はトラックに5000円の上限料金を設けたが、全日本トラック協会によると、現行の割引制度の廃止で実質値上

を求めている。出席した議員からは「政府案には絶対に賛成できない」「衆院選公約と矛盾する」などの声

が相次いだ。